

我が国におけるダイオキシン類の環境基準達成状況(平成15年度)

〔 単位： 大気 pg-TEQ/m³
 水質 pg-TEQ/L
 底質 pg-TEQ/g
 土壌 pg-TEQ/g 〕

環境媒体	調査の種類 又は地域分類 (水域群)	地点数	検体数	環境基準超過 地点数	調査結果		
					平均値	最小値	最大値
大気	全体	913 (986)	3,622 (3,755)	1 (-)	0.068 (0.065)	0.0066 (0.0056)	0.72 (0.72)
	一般環境	691 (721)	2,833 (2,910)	0 (-)	0.064 (0.063)	0.0066 (0.0056)	0.50 (0.50)
	発生源周辺	188 (230)	663 (717)	1 (-)	0.078 (0.071)	0.0076 (0.0076)	0.72 (0.72)
	沿道	34 (35)	126 (128)	0 (-)	0.076 (0.075)	0.014 (0.014)	0.29 (0.29)
公共用 水域 水質	全体	2,126	2,701	51	0.24	0.020	11
	河川	1,615	2,131	48	0.27	0.022	11
	湖沼	99	121	2	0.20	0.025	2.1
	海域	412	449	1	0.094	0.020	1.3
公共用 水域 底質	全体	1,825	1,958	9	7.4	0.057	420
	河川	1,377	1,507	7	6.3	0.057	410
	湖沼	89	90	0	11	0.072	36
	海域	359	361	2	11	0.11	420
地下水質		1,200	1,201	0	0.059	0.00032	0.67
土壌	合計	3,059	3,059	1	4.4	0	1,400
	一般環境把握調査	2,128	2,128	0	2.6	0	360
	発生源周辺状況把握調査	931	931	1	8.5	0	1,400

注1: いずれもPCDD、PCDF、コプラナーPCBの合算値。

注2: 大気、公共用水域(水質、底質)及び地下水質の調査結果における平均値、最小値及び最大値は、各地点の年間平均値の平均値、最小値及び最大値である。

注3: 大気については、環境省の定点調査結果及び大気汚染防止法政令市が独自に実施した調査結果を含む。
 なお、上段は夏期及び冬期を含む年2回以上調査された地点、下段()内は全調査地点の数値である。

注4: 土壌については、このほかに対象地状況把握調査(1か所4地点 0.040~0.47pg-TEQ/g)及び
 範囲確定調査(1か所20地点 2.1~3,200pg-TEQ/g)が実施された。